

②菊地直樹：「四国と九州の恐竜化石研究の最前線」

菊地氏は高知大学理学部地学科の4回生の時に、四国初の恐竜化石を徳島県勝浦川盆地の白亜紀の地層から発見された方で、この春から熊本で恩師の田代正之高知大学名誉教授のもとで自然博物館のお仕事をされている。発表の、四国と九州における恐竜化石研究の最前線に1億年前のロマンをつよく感じたのは筆者だけではないだろう。彼の携わる自然博物館は島をまるごと博物館化するもので、究極の実体験型のミュージアムとして注目される。